夢の轍
ほぼ日刊
☆Cカaラrッaトt☆

第６９６号
神町中学校　夢色通信社
令和２年８月５日

１学期を振り返って

１年　杉浦将太

短い１学期でしたが、この２ヶ月でぼくたち１年生は、中学校生活に少しずつ慣れてきました。その中で成長したところや、課題も見つかりました。でもまだ、わからないところや、慣れないところもたくさんあります。

成長したところは、あいさつをする人が増えてきたことです。初めの頃はあいさつをする人が少なく、声が小さい人も多くいました。しかし６月から部活動が始まると、先生方や先輩方にも大きな声であいさつをしている人が増えてきました。これからも続けて、元気の良いあいさつをがんばっていきたいと思います。

課題は２つあります。１つ目は、時間を守れないというところです。授業開始の時間や給食の「いただきます」の時間など、チャイムが鳴ってから準備をする人が多くいました。この原因は、授業が終わった後の１０分の休けい時間にあると思うので、これからは授業の２分前には準備をして座るように、呼びかけをして直していきたいと思います。２つ目は、分離礼をしっかりしていないところです。授業の始まりと終わりのあいさつを、しゃべりながらしている人います。最近は、片づけをしながらする人が減ってきていると思いますが、まだ、あいさつの声が小さい人や誰かと話をしながらあいさつする人がいるので、これからはもっとしっかりあいさつができるように、けじめをつけてがんばっていきたいと思います。

ぼく自身については、部活動が本格的になるにつれて、勉強と部活動の両立の大変さが分かってきました。短い夏休みであっという間に終わってしまうと思いますが、充実した夏休みがおくれるようにしたいと思います。そして２学期が始まってからも、１学期で身につけたことを活かして、勉強と部活動を両立できるようにがんばりたいと思います。

八月

1945 年（昭和 20 年）に戦争が終わってから、今年で 75 年になる。戦争を体験した人たちが少なくなる中、「戦争そのものが忘れ去られていくのではないか」という危機感を、ムネ爺はもっている。戦争の悲惨な体験を語り継ぎ、平和な世界を創っていくことが、今を生きている我々の使命であると、ムネ爺は思う。神町中学校では、３ 年間をかけて「平和学習」を行っていると聞く。１ 年生では若木防空壕見学、２年生では被爆ピアノコンサートがあり、その集大成が沖縄研修旅行だ。沖縄研修旅行はなくなったそうだが、神中生には引き続き「戦争について」「平和について」考えていってほしい。８月６日（広島にに原爆投下）、８月９日（長崎に原爆投下）、８月 15 日（終戦）と、８月は戦争に関する話題がたくさん出てくる時だ。テレビやニュースを見ながら、「戦争」や「平和」について考えてもらいたいと思う。明日の広島平和祈念式典では、矢川光則さんの被爆ピアノが登場するらしい。この被爆ピアノは去年も神中に来たし、今年も 10 月にも来るという。どんな運命を持ったピアノなのか、注目しながら見るのもいい。沖縄に行けなくても、平和について考えてほしい。